

週刊 タバコの正体

水たまりや排水溝に捨てられた吸い殻を目にした事はないでしょうか。一番上の写真には何本もの吸い殻が水に浮かんで、タバコから染み出たタールで濁っている様子が写っています。タバコを水に浸すと、こんなにタールが染み出ます。そこで、毎日20本を一年間吸ったのと同じ量のタバコを水に溶かして瓶詰にすると、次の写真のように真っ黒でどろどろした液体になってしまいます。



Photo: Patrick Dunder <https://5c.kit/992M> (CC BY 2.0)
プラなし生活 サイトから

こんなものを吸い込んでいるなんて、とんでもなくおぞましいですよ。でも、吸い込む白い煙にはそんな感覚はわかりませんし、水に溶けた状態など想像できるわけがありません。

しかし歯の裏側に、このタールやヤニがこびりついて真っ黒になっている喫煙者もいるうえ、歯茎まで黒ずんでいる人もいます。

自分の歯や歯茎が、こんな事になるなんて御免こうむりたいですよ。そしてなにより水に溶けたタバコの様子を思うと、とてもタバコなんて吸い込む気分になれないはずです。

産業デザイン科 奥田 恭久



はこだて市民健幸大学 はこだて健康ナビ サイトから

一般財団法人 NS メディカル・ヘルスケアサービス HP から



歯についた歯石と着色



タバコで黒ずんだ歯肉